

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

福祉環境委員会記録

平成 28 年 9 月 13 日(火)
第 2 委員会室
10 時 00 分～12 時 42 分

【委員】 道下委員長、足立副委員長、柳楽委員、小川委員、森谷委員、平石委員
澁谷委員、西村委員

【委員外議員】 岡本議員、上野議員、江角議員、笹田議員、岡野議員、串崎議員
佐々木議員、野藤議員、芦谷議員、

【議長団】 西田議長

【執行部】 川崎健康福祉部長、杉本地域福祉課長
猪木迫地域医療対策課長、中田健康長寿課長、有福子育て支援課長
宮崎市民生活部長、三浦医療保険課長
埴総合窓口課長、原田環境課長
吉永金城支所長、山田市民福祉課長
田村旭支所長、佐々尾市民福祉課長
細川弥栄支所長、小田市民福祉課長
斎藤三隅支所長、大田市民福祉課長
河野上下水道部長、小川管理課長、岸本工務課長
塚田下水道課長

【事務局】 外浦書記

議 題

1. 請願第 17 号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願
2. 請願第 22 号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願
3. 請願第 26 号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願
4. 請願第 30 号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願
5. 請願第 32 号 廃棄物の処理に関する請願
6. 執行部報告事項
 - (1) 休日応急診療所と那賀郡在宅当番医制の統一協議について
《休日応急診療所へ一本化協議》
 - (2) 浜田市と島根県理容生活衛生同業組合浜田支部との高齢者等見守り活動
に関する協定書締結について
 - (3) 介護予防・日常生活支援総合事業について
 - (4) 浜田市子育て世代包括支援センター事業の開始について

- (5) 浜田市火葬場整備計画の見直し（案）について
- (6) みすみ地域活動支援センターきずなの状況について
- (7) その他

（配布物）浜田市健康福祉フェスティバル・浜田駅北医療フェスタの
開催について
浜田市の保健医療福祉（平成 28 年度版）
浜田市人口状況（平成 28 年 5 月末～7 月末）

7. 所管事務調査

- (1) 島根県地域医療構想（素案）について
- (2) 国保都道府県単位化に向けた島根県の現状について

8. その他

【議事等の経過】

[10時00分 開議]

道下委員長

ただいまより福祉環境委員会を開催いたします。出席委員は8名で定足数に達しています。早速レジュメに沿って進めさせていただきます。

- 1 請願第17号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願
- 2 請願第22号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願
- 3 請願第26号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願
- 4 請願第30号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願

平石委員

議題1についてです。執行部に何か聞いておきたい点等ございましたら受けたいと思います。平石委員。

この件については、以前から森谷委員から一般質問等で色々と議論がなされている所だと思いましたが、事業費について、今保育事業で年間27億くらい、全体予算としてありますよね。市の負担が6億5000万くらいで保育事業をやっていますが、こういった事業をやることとなった場合、どれくらいの費用がかかってくるのかというのは、試算等されていますか。

子育て支援課長

古いデータとなって申し訳ありませんが、以前一般質問でお答えしたデータでお答えいたしますと、平成26年度の子どもの数で試算いたしました。月額5万円ということで、0歳児の場合1億2800万円。1歳児が2億4700万円、2歳児2億6000万ということで、トータルで就学前の子ども全員を対象とした場合には14億の費用がかかるものと計算しています。

平石委員

これは市の負担ですか。全体事業費で14億増えるという話ではなく、6億5000万円の市負担が更に14億増えると理解してよろしいですか。

子育て支援課長

手当の支給総額が14億になるということです。もし仮にそうなった場合、代替に言われたとおりこれにかかる保育の市負担が5億6000万ありますので、差引で言うと8億7000万の追加が必要になる。この財源ですが、現在のところ特設補助とかそういったものが当たらない。特に国の方でも色々な制度がありますが個人給付は除くといったものが多いため、市が丸々負担する金額になります。

道下委員長

その他ありませんか。足立副委員長。

足立副委員長

先般の新聞記事で、鳥取の湯梨浜町でしたか、あちらの方で家庭内保育の新聞記事が載っておりましたが、ここは全額町の負担なのか、それとも別の財源等があるのかどうか、その辺でお調べになったことがあれば教えていただきたいと思います。

子育て支援課長

全ての町を当たっているわけではありませんが、湯梨浜町さんの場合、総予算額が3000万ちょっとです。予算上は町費となっておりますが電話聴取したところ、一昨年は地域地方創生交付金をあてており、本年度からは個人給付は駄目だとなったので、ふるさと寄附を活用されているとのことでした。

道下委員

その他。西村委員。

西村委員

先ほどから言われている数字の根拠というか、内訳がよく分からないので私独自の質疑をしたいのですが。この2月に民間の保育連盟との情報交換会の時に浜田市が提出された資料によりますと、保育所の運営費の財源内訳としてトータル18億6000万くらいの内訳の中で、5億8000万程度が保育料にかかる経費で、残り13億弱が国と県と市で、2分の1、4分の1、4分の1という内訳になっているんですが、従って市は13億弱のうち4分の1ですから、書いてある数字を読みますと3億2000万円程度の、保育所運営費としての支出になっているという関係にあると思います。それがこの運営費に関わっての浜田市の支出なんですが、一方、請願で言われている制度を浜田市が導入した場合、新たにどれだけの経費がかかるかということと言いますと、先ほど言われた平石委員への答弁の中にあつた3億数千万円が新たにかかるという解釈でよろしいんですか。ちょっとよく分からないんですが。

子育て支援課長

先ほどの数字、まず平石委員さんにお話した数字を再度繰り返してお話させていただきますと、月額5万円の在宅保育手当を就学前まで出すとした場合、14億5000万の財源が必要になると。浜田市の保育負担が5億6000万くらいあるので、差引で言うと8億7000万円くらいかかる話になります。

先ほど5億6000万というお話をしました。それが西村委員さんが言われる、浜田市保育料負担3億とのギャップがあるということだと思っておりますが、西村委員さんが言われたのが、本来の保育制度での浜田市負担分が3億、浜田市が保育料を独自に40パーセント軽減、国の60パーセント水準に下げています、ここの負担分が2億5000

万くらいありますので、これを足すと先ほどの 5 億 6000 万の数字になるということです。

西村委員

今の制度を導入して 5 万円の手当を支給した時にかかる経費というのは、8 億いくらとおっしゃいましたか。

子育て支援課長

追加でかかる経費は 8 億です。全ての子どもが保育所に行かないと仮定して、保育所に払っている保育所運営費の浜田市負担分を除けば、8 億 7000 万の追加財源が必要になるろうかと思います。

西村委員

それでは今の年間出生数が 400 人ちょっとありますよね、その子どもが全員保育所に行かないという想定での 8 億数千万という計算なんですね。

子育て支援課長

そのとおりでございます。と言いますのが、これは根本の制度設計の話になるんですが、保育所というのは本来、保育を必要とする子どもさんを預かる施設です。ただこういった形で在宅で保育をされている方に手当を支給する場合、保育が必要かどうかといった基準がなくなりますので、逆に言えば全てのお子さんを対象とせざるを得ないことになるかと思います。

西村委員

私も湯梨浜町に聞いたわけではないので何とも言えませんが、新聞記事を見る限りは 100 人に迫る勢いだと書いてありましたので、ちょっとネットで調べたら、人口規模は 1 万 7000 人で 100 人で、浜田市と比較すると 3 分の 1 弱の規模です。出生がいくらかと言うと 147 人でした。ですから 147 人出生して実際に受けているのは 100 人行くか行かないかなので、400 人ちょっとの子どもが全員行くという想定自体にちょっと無理があるのではないかと思います。手当としては、いわゆる在宅保育をする所にだけ支給するのが当然であって、ちょっとその計算自体は合理的じゃないと私は思います。その比較はおかしいのではないかと。

子育て支援課長

これはあくまで試算なので想定に無理があるというご指摘はそのとおりで。ただ、保育園に支払う経費を差し引いて計算しておりますから、結局保育園に行く方がいればその費用が保育園に支払われるので、総額については変わらない計算になると思います。

繰り返しになります。全てのお子さんに払うと 14 億 5000 万かかります。そこから本来保育所に払っているべきお金を 5 億 6000 万引いています。残りの一般財源が 8 億 7000 万必要になる計算です。もし仮にこの中で保育所に行くお子さんがいれば、引いた 8 億 6000 万

が保育所に行くということ。

西村委員

私は正直、今その計算式を充分理解をしてないんですが、ただ公的負担という意味で言うと国も県もあるわけですから、視点を変えて公的負担は保育園に行かない子どもが出てくれば、その分だけ公的負担は減るのが事実ではないかと思いますが。

子育て支援課長

一般質問等で繰り返しお話していますが、西村委員さんがおっしゃるとおりです。保育所は市の負担だけではなく国県の負担がありますので、その分、市の負担が軽減される。それを在宅保育手当に置き換えた場合には全額が市の負担となるので財政負担が重くなるということです。

澁谷委員

人口減少対策と考えた時、私は第3子以降保育料無料化を繰り返し訴えてきています。第3子目以降からは税金を投入して地域全体で育てるべきだと思っていますが、この考え方も一つの着眼点としてはありだという気がしています。その理由というのがそこにも書いてあるように、0～1歳児までは3人に対して保育士が1人つく基準があるので、行政負担が大きいです。乳児に対して月20万くらいの費用がかかると聞いたので、その費用を考えればその何分の1かの金額で、費用が負担できないのであればこういう考え方もありかなという気がしたんですが、今の説明を聞いているとそうではなくて、国県の負担がない分、浜田市の負担が更に増えるという答弁だったように思えます。その辺をシンプルに、もう一度確認します。

子育て支援課長

説明が不十分でした。月額5万円を前提としてお話しましたが、この水準をどこに持っていくかで市の負担がどうなるかという問題が当然出てきます。その辺は制度設計でもありますし、方程式、どの程度にするのか。極論を言えば、現在浜田市が出している運営費の負担割合範囲内で手当を支給するという選択肢も当然あるかと思っています。ただその選択をした場合は金額が当然低くなりますので、保育所に預けて収入を得る方が有利なのかどうか。また経済的な問題以外で、肩一方では議員が言われるとおり愛着形成であるとか養育面のプラスもあれば、逆に言えば早く保育所に預けたいというニーズもあります。その辺は制度設計の問題になろうかと思いません。

澁谷委員

金額の問題があるので、市の持ち出しが増えるとも減るとも言えないということですか。

子育て支援課長

最終的にはそういうことになってしまいますが、ただ、ある程度保育所に預けるのと代替の金額を支給しようと思えばそれなりの金額になり、市の負担も増えざるを得ないことになります。

森谷委員

有福さんの説明というか、試算は血が通っていません。もっと分かり易く説明するなら、これは配られているんですかね。配ってください。

道下委員長

ありますか。

森谷委員

配られる時間で質問します。0歳児だけで考えると約20万くらいトータルでかかります。イメージとしては親が3万を負担、公的負担が17万くらいある。その公的負担の内訳は国が8万、県と市が4万ずつ。これを巻き込めば市は4万の負担で済みます。けども今の状態で市がとりあえず4万負担しているから4万円の支出を狙うために所得制限をかければ済む話だと思います。色んな収入レベルの人に聞きましたが、浜田市役所で保育園に子どもを預けている人に聞いたら、10万以上の人は絶対預ける、10万以下のパート等の人は預けたら何のために働いているか分からないレベルになるためこの制度を利用されるということで。有福さんは実際に誰にも聞いていない。本当に預ける人たちの声は全く聞いておらず机の上で試算しておられるから、私の提案との大きなギャップになると思います。私は、とりあえずは市が負担する4万を確保するためにはどのような制限をつけるべきかから始めるべきだと思うし、実際にどのくらいの利用者がありそうかはアンケートを取れば済む話です。地に足を付けた血の通った試算をして欲しいと思いますがいかがですか。

子育て支援課長

先ほど来試算の話が出ていますが、これについては一般質問で森谷委員さんのおっしゃった条件に基づいて設定したものであることをご理解いただきたいと思います。それから市民の声ということですが、一昨年、子ども子育て支援事業計画を策定するにあたり市民のお話も聞いています。その中では保育料負担が重たい、第3子まで欲しいが経済的問題が大きいという声を聞いています。実際に保育所に預けるボーダーラインがいくらなのかは確認しておりません。

森谷委員

第3子以降は良いことではあると思いますが、まずは1子2子のハードルを越えることが重要だと思います。僕の一般質問の条件を前提に試算を……。

道下委員長

森谷委員、今日は委員会ですので請願内容について議論を深めた

いと思います。

森谷委員
道下委員長
森谷委員
道下委員長
森谷委員
道下委員長
森谷委員
道下委員長
森谷委員

嘘をつかれたので訂正したいのですが。訂正までは良いですか。

自分の試案を言う場ではありませんので。

そこを訂正しなければ皆本当だと思うじゃないですか。

そこまでで止めていただければありがたいんですが。

嘘をつかれたがそこで置けということですか。

それは議員内で判断することです。

違いますよ分からないじゃないですか。

それは議員さんが分かるところです。

僕以外には分からないじゃないですか。有福さんも大嘘つかない
てくださいよ。どういうことですかいい加減なことを言わないでく
ださいよ。

道下委員長

暫時休憩します。

[10 時 22 分 休憩]

[10 時 26 分 再開]

道下委員長

会議を再開します。ご意見色々ありますが、森谷委員は紹介議員
だということを踏まえてもらって、最終採決にしたいと思います。
その他ご意見ありますか。

西村委員

しつこいようで申し訳ないが、先ほどいただいた資料で私も質疑
をしたんですが、結局 1 人、今までなら保育所に入所していた場合
はこういった財源内訳で、市なり県なり国の負担が 1 人分あるわけ
ですが、新たに制度を導入したことで保育所に行かなくなれば、こ
の経費はいらなくなるわけですよ。だけどこれは費用の方で見
ているけど、浜田市で言えば地方交付税が減るのではないですか。大
雑把に言えば市にとって収支は恐らくプラマイとしてはほぼゼロ、
しかし一方で 3 万なり 5 万なりの手当をその家庭に支給する分だけ
市の支出が増える、そういう解釈でよろしいのかが私は知りたかつ
たんです。

要するに 1 人のお子さんが保育所に入所したらこれだけの費用が
かかるけども、その分だけ地方交付税も手当されている。しかし入
所しないと費用も減るが地方交付税も減るから、そういう意味では
浜田市にとってはプラマイゼロだと。しかし制度を導入して手当を

支給すればその分浜田市の支出は増えるのか。単純に言ってそういう図式になるのか確認したかったのです。

子育て支援課長

厳密に言うとは先ほど来話しているように、保育所運営費の中に浜田市負担分があるので、単純に手当を出した金額分が損になるといは言えないです。本来保育所に行っていれば負担していた経費があるので、純粋に手当が下った上澄みだけが浜田市の負担増にはなりません。

西村委員

言われることは分かるんだけど、ただ一方では地方交付税が入ってくるから、その分は市の4分の1負担と相殺されるから、25パーセントの部分を除いたら市の支給手当分が負担増になるのかを確認したいんです。

子育て支援課長

交付税算入等の割合は私も把握していないため分かりません。

西村委員

議案質疑になっているという意見もありましたが、この請願の趣旨に基づいて質疑しているつもりなのでご理解ください。

1 人の入所の有無が即保育所の運営費、収入に関わってくる問題だと思っています。先ほどの湯梨浜町 147 人出生して約 100 人が子の手当を受けて、保育所に入所してないという想定で、それを浜田市に当てはめて想定すると、今 270、280 人が入所していますが、それが 130 人程度に減るという勘定になって、約 100 数十人の入所が減る勘定になります。そうすると保育士確保が非常に楽になると思います。収入が減るのは事実であり、影響が大きいのではないかと思います。その点を執行部はどのように見ておられるのかなど。

子育て支援課長

手当を支給することによってゼロ歳児が減ることによる保育所運営の影響ですが、それは大きな影響があるかと思っています。これは一般論的な話になりますが、保育所にとってゼロ歳児を受け入れることは住居の移動等がなければ卒園までおられる。特にゼロ歳児については表裏の関係ですが、3 人に 1 人保育士を用意しなければならない。逆に言えばそれだけ手厚い人件費が見てもらえる、保育士が確保出来るということになります。以前の議会でもお話があったかと思いますが、8 時間内の保育士定数以外に、延長保育や早朝保育もあるのでそれ以上の保育士が必要になってきます。なので 3 人に 1 人の手厚い保育士の配置というのは非常にメリットがあると思います。浜田市も待機児童対策として保育所整備を進めていますので、これまでの政策の整合性から言っても、こういった手当を導入

するのは本質的な議論が必要だと、一般質問でも繰り返しお答えしてきています。

道下委員長

この件に関してはここで置きたいと思います。

5 請願第 32 号 廃棄物の処理に関する請願

議題 5 についてです。地方自治法第 117 条の規定により澁谷委員の除籍を求めます。

《 澁谷委員除籍 》

西村委員

この件について執行部に聞いておきたい点等あればいかがいます。

桑本グリーンガーデンさんと浜田市とでやりとりをされた内容について、出来るだけ詳しくお話をいただけたらと思います。

環境課長

先般委員会の中でお話しておりますが、5月25日に西村町の環境清掃指導員さんから、桑本グリーンガーデンさんが西村町の土地を借りている所で、現在借地として20年以上経過している場所なのですが、そこにおいて不法投棄がしてあるとのことで、当初ご連絡がありました。現場の様子を見た所、実際に使っておられるもの、また過去に20年以上山積みになっているものがありました。当時使うつもりで縁に置いていたものが錆びたり汚く見える状態でした。恐らく資材保護のために被せてあったブルーシート等も少し散乱していました。土地を占有している桑本さんは94歳の方で、土地管理をきちんとして欲しいとお話させていただいて、少し片づけをされて、倒れかけていた小屋の中身を仕分けされて端に集積していつでも搬出出来るようにしてくださっていました。若干草刈等もなさっており、比較的綺麗に管理されておりました。奥へ入ってみますと20年以上経過して、かつては使うつもりで置いておられたものが劣化等したために不法投棄のようにも見えるし、また片づけられていない状態でした。我々は浜田保険所とも現場訪問して、不法投棄ではないなということは保健所さんからもご意見をいただいています。見た限り人が捨てたものではない、自分の占有している土地の中で管理しておられます。ただしテレビと冷蔵庫については環境課としても処分指導を徹底したいと思います。現在も桑本さんと連絡を取っているのですが、なかなか動いていただけないのが現状です。当初環境課としては車でも持って行って地元の方の要望に応えるべきとも思っていたのですが、そのうちにこういった請願が出て驚いていま

す。少しでも当方で対応できることであれば取り組みたいという思いです。概要は以上です。

西村委員

桑本さんも少し小屋の整理をされたというお話がありましたけども、どういった反応なんですかね。その点がよく分からない。

環境課長

物を自分で今後利用するんだという思いでその場所集積してました。けれども時間経過と共に使わないものが増えて、ごみ屋敷のような形で置いてあるのが現状です。本人さんもこれはごみじゃないという思いもあるようで、ごみという判断が出来にくい点がありました。

西村委員

本人さんには、ごみだという意識はないので整理するとか片づけるといった意識は、基本的にはあまりないと受け止めてよろしいですか。

もう1点はテレビと冷蔵庫が置いてあるという話で、これは何とか処分してもらわないとというお話でしたが、それはその方向で、市も今後そのように動かれるんですか。

環境課長

冷蔵庫やテレビは有害物質等の流出も考えられますので、事業者さんで適正処分していただきたい思いがあります。本人さんの今後ですが、今も我々連絡を取っていますがなかなか電話が繋がりません。事務所にも顔をのぞかせています。桑本さんにはまず搬出していただく、できるものは周辺環境に影響が出ないようにしていただきたい、環境保全のためにも周辺に迷惑がかかるようでは困ることを伝え、保険所と一緒に指導してまいります。

道下委員長

その他。

柳楽委員

この請願文書の中に、東側の果樹園は実害が出たと書いてありますが、そういう実態があったんでしょうか。

環境課長

東側に柿が植えてありました。我々も周りを見ましたが、造園業者さんとなると枝葉を持ち帰って、腐敗させて堆肥化するというお話でした。我々が見た限りではちょっとどうかなと思いました。虫の被害は見受けられないようでしたが、時期的な物もありますので経過を注視していきます。

道下委員長

その他。

(「なし」という声あり)

では質疑を終了し、ここで澁谷委員の除籍を解きます。

議題2から4の3件は、ただ今質疑を終了しました。請願第17号

と同一目的、同一趣旨のものであるので、この請願は質疑不要としたいと思います。

6 執行部報告事項

(1) 休日応急診療所と那賀郡在宅当番医制の統一協議について

《休日応急診療所へ一本化協議》

道下委員長	議題6です。執行部から順に報告願います。地域医療対策課長。
地域医療対策課長	(以下、資料をもとに説明)
道下委員長	説明が終わりました。委員から何かご意見がありますか。
森谷委員	休日診療所は浜田にもう要らないと思います。ここまで来るなら医療センターに行けばもっと設備が整っていますし、医療センター1本化で良いと思いますがどうなんですか。
地域医療対策課長	現在は家庭医を持とうという流れで、まず医療センター等の第3医療機関に行く前に自分の医療機関で診てもらおう。全員が医療センターに行くとなごい人数になってしまうので、そういう制度が今できています。その制度に基づいて選定療養費が上がってくるようになっています。そのため各市町村とも休日応急診療所を設けていますが、江津市はそれが出来なくなっています。
森谷委員	江津市の例を見れば、何とかなるということですよ。家庭医とはかかりつけ医のことだと思います。休日診療所の先生を家庭医とは思えません。あと人口減少によって医師不足もそのうち解消します。そういうことを長期で展望した場合は医師が余ってきます。江津市はもう一本化が出来ていますし、もっと現実的に、良い形で寄せた方が患者さんにとっては設備が整った所で診てもらえるとか、夜でも診てもらえるとかメリットがあると思いますが。
地域医療対策課長	選定療養費はお金がかかります。直接医療センターの時間外に行くと診療費以外に5400円徴収されます。休日応急診療所ではそれがかかりません。
森谷委員	そんな大変な時に5000円云々は問題にならないと思います。どうせ市役所まで行くなら医療センターに行くのと変わりませんし、かかりつけ医を叩き起こして診てもらおうのもハードルが高いです。その点、医療センター1本化すれば気兼ねもないし、より良いではないですか。
地域医療対策課長	以前もそういう話が出たこともあるかと思いますが、今は第3次

医療に直接行くのではなく、その手前で一度診療するために休日診療所があります。資料 3 ページにも休日応急診療所（在宅含む）を載せていますが、どんどん受診者数が増えているのは、まずこちらで診てもらおうのが市民の皆さんにも普及してきているのだと思います。ただ 1 ヶ所でやって欲しいという医師会からの要望もありますので、両方の気持ちを考えて一本化させていただきたいということで今回出ています。

道下委員長

その他。

西村委員

説明があったかもしれませんが、これいつからやろうとしていますか。

地域医療対策課長

地域協議会に説明させていただき、こういう状況でやって良いかを相談してから決めたいと思いますが、医師会からの希望は来年 4 月からです。

道下委員長

休憩に入りたいと思います。再開は 11 時 10 分です。

[11 時 01 分 休憩]

[11 時 09 分 再開]

道下委員長

会議を再開します。有福子育て支援課長から先ほどの件で訂正の申し入れがありましたので許可します。

子育て支援課長

先ほどの請願のご説明の中で、森谷議員さんの一般質問の際の試算をもとにということで、森谷議員の条件とお答えしましたが、議事録を調べましたら、28 年 3 月議会で、5 万や 10 万円等の支援を提案したいと森谷議員が提案されており、それに基づいて私の方で試算させていただいた内容です。森谷議員はその後、所得制限とか色々なことをお考えになっておられたので、現在のお考えにそぐわなかったかと思います。その点を訂正しお詫び申し上げます。

道下委員長

色々発言あるかと思いますが。発言の言葉には議員ともども充分気をつけていただきたいと思います。

(2) 浜田市と島根県理容生活衛生同業組合浜田支部との高齢者等見守り活動に関する 協定書締結について

道下委員長

健康長寿課長。

健康長寿課長
道下委員長
西村委員

(以下、資料をもとに説明)

この件についてご質問は。

良い中身だとは思いますが、この利用組合さんがどうしてこういう見守りをやろうという話になったのかなど。話がうかがえていたら紹介してください。

健康長寿課長

平成 23 年度から毎年、使用済みタオル等を大量に寄贈してくださっています。高齢者施策にもご理解がありますし、自死予防とか子ども 110 番にも加入しておられますし、私の方で組織しています S O S ネットワーク等たくさん加入しておられます。要は各地域において活動される各店舗ですので、より地域貢献をしたいという思いを積極的に持っておられますので、その結果です。

道下委員長

その他。

(「なし」という声あり)

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業について

道下委員長
健康長寿課長
道下委員長
足立副委員長

この件について、健康長寿課長。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わりました。委員から質問はありますか。

最後のページの (5)、介護予防ケアプランは、早い段階でケアプランを作成してそれを市へ提出しなければならなかったかと思えます。そうすると1月のすごく早い段階で説明会をしてもらわないと、利用者へ説明し同意を得てサインを貰い、それから市へ提出云々がありますので。実はケアマネから1月でも遅いと聞いています。出来れば年内、1月でも早いうちをお考えいただきたいと思えます。

健康長寿課長
道下委員長

承知しました。出来る限り早めます。

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

(4) 浜田市子育て世代包括支援センター事業の開始について

道下委員長
子育て支援課長
道下委員長

この件について、子育て支援課長。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わりました。委員から質問はありますか。

(「なし」という声あり)

(5) 浜田市火葬場整備計画の見直し（案）について

道下委員長	この件について、環境課長。
環境課長	(以下、資料をもとに説明)
道下委員長	説明が終わりました。委員から質問はありますか。
澁谷委員	事業費が出ていますが、素朴に考えてここだけ事業費使って浜田市の他の施設の再配置等も進んでおらず、ランニングコスト増が心配です。これだけの事業費を使う以上は、どこの部分で経費削減、管理の施設減少を考えておられますか。
市民生活部長	施設をそのまま残すという話なので、再配置計画の面から見れば全く進展しません。ランニングコストは引き続き必要です。火葬場単体でやるのは無理ですから、環境施策全体の中でコスト減をはかりたいと思っています。例えば今年度の2種類の補助金廃止や、廃プラ燃焼による機械設備の更新を抑えるとか、そういったものでバランスを取っていきたいと思います。
澁谷委員	部長から力強い意見が出たので、是非結果を期待します。
道下委員長	他にありませんか。 (「なし」という声あり)

(6) みすみ地域活動支援センターきずなの状況について

道下委員長	この件について、予算については予算決算委員会で補正審査がありますのでその時にお願いします。三隅支所市民福祉課長。
三隅市民福祉課長	(以下、資料をもとに説明)
道下委員長	説明が終わりました。この件は予算決算でお願いします。

(7) その他

道下委員長	配布物がありますのでご確認ください。執行部からその他ありますか。地域福祉課長。
地域福祉課長	全協報告につきましては、 (1) 資料配布のうえ説明 (2) 資料配布のみ (3) 資料配布のうえ説明 (4) 資料配布のうえ説明 (5) 資料配布のうえ説明 (6) 資料配布なし

(7) 両フェスティバル開催についてと保健医療福祉の冊子は配布
浜田市人口状況については資料配布なし
と考えております。

澁谷委員

配布物の中の健康福祉フェスティバルと医療フェスタ、毎年同日
に開催していますよね。地域でも催し物の多い時期でもあります。
参加を促すのであれば日付をずらすような工夫が何かあっても良い
と思いますが、毎年同日開催なのは何故ですか。

地域福祉課長

健康福祉フェスティバルは 25 回の歴史があり、10 月第 3 と決め
ております。選挙のあった年に変わっただけです。医療フェスティ
バルはまだ 4、5 回だと思います。基本的にはその 1 週間ということ
で始められたのですが、民間主導なので色々な団体のご都合を調整
する中で 10 月第 4 日曜が難しいと。更にずらすと 11 月に入って、
11 月上旬もイベントの重なる時期です。2 週間繰り上げるとなれば
運動会の開催と被る可能性があり、別の日に移動するのも難しいと
いうことで、結果的に同日開催が続いているのですが、良い意味で
バスで連携したりもしています。昨年も同日開催でしたが非常に連
携が取れていて、同日が必ずしも悪いとは一概に言えないようです。
ここ数年はたまたま同日に重なっているのが実態です。

澁谷委員

できない理由は分かるんだけど、浜田市が健康長寿イベントに出
来るだけ多くの方に参加いただくような哲学とビジョンがない。折
角開催するのにどうかなと。主催者の都合でやりやすい所でやるの
は、事業をただこなしているようにしか思えません。折角良い事業
なら、どちらにも参加しやすいように検討するべきではないでしょ
うか。

地域福祉課長

実行委員会があります。同日開催が続いていることについて、ど
うだろうという声は出ましたし、案もありましたが、まずは 10 月第
3 日曜として定着した健康福祉フェスティバルは半年前から予定の
調整をしています。駅北医療フェスティバルの方は毎年年明けくら
いから始まって日程が決まるのが、健康福祉フェスティバルが決め
た何ヶ月も後発で決まって、どうしても一緒になってしまったこと
が続いています。議論もした上ですので、同日開催になった際は最
大限の連携をはかることで対応させていただきます。

道下委員長

この件についてはよろしいですね。環境課長。

環境課長

先ほど火葬場整備計画の改修期間ですが、私が平成 29 年度から

35年度と申し上げましたが、誤りでした。平成37年度までです。
大変失礼いたしました。

道下委員長

訂正されました、皆さんよろしく申し上げます。

7 所管事務調査

(1) 島根県地域医療構想（素案）について

道下委員長

所管事務調査です。執行部から順にお願いします。地域医療対策課長。

地域医療対策課長

（以下、資料をもとに説明）

道下委員長

説明が終わりました。委員から質問はありますか。

森谷委員

このまま人口減少していくと、いずれバランスが取れると思いますがその推測は考えておられますか。

地域医療対策課長

人口減少も含めた病床数を予定しています。

森谷委員

いつごろバランスが取れるか。どんどん人口減っていきますよね。いつ頃に病床数不足が解消しますか。

地域医療対策課長

今回の構想は2025年に向けて計算されています。医師不足については2030年頃となっていますが、この構想については2025年目途に想定されています。

森谷委員

これを見ながら考えたのは、消防の所と図式が似ている。それから在宅というところで考えたのは、老人と乳児を見る等、色々リンクしてやると良い考えも出てくるのではないかと思うんですが、そういう連携の状態では進んでいないのでしょうか。

地域医療対策課長

今回は島根県の地域医療構想素案についてという所管事務調査でこの様式を出していますが、説明でもありましたように、包括ケアシステムの構築を支援すること等が求められていますので、その方向に向けて今後どのように進めていくか、検討課題となっています。

森谷委員

私もそのように感じたので、その辺をより強く考えられると良いのではと思います。

道下委員長

その他ありますか。

西村委員

2日に県から短時間ですが、この資料に基づいてレクチャーを受けた時にスケジュールの説明がありました。これだけのもの、特にベッド数は飽くまで目安なんだと言いながら1128から760ということで、かなりの削減案になっています。それを関係者や市町村に説明して9月県議会にかけて委員会で決定し、多分議会で承認を得る

スケジュールだろうと思います。そして県の医療審議会に諮問して答申を受け、10月に構想として策定すると聞いています。スケジュール的にこんなめっちゃくちゃなやり方があるかと思います。浜田市にこの案について説明が県からあったのか、もしあったのなら市としての意見等についてどのように県に申し立てをされようとしている、あるいは言ったのか、言ったならその中身を教えてください。

地域医療対策課長

これまでの構想についての浜田地域保健医療対策会議というのが毎年ありますが、その中で平成26年から年1回、平成27年からは正式な構想案を出されて検討され、また我々課長なり各医療機関や色んな委員さんが出て、医療介護連携部会というのが開催されておりまして、これが年2回、28年も既に1回。その他に作業部会というのもあります。県が素案を作った後に色んな作業部会で検討されています。それには医療機関の先生方も出ておられて色んな意見を言われて、浜田圏域の構想も随時なおってきています。

ただ病床数については、国が計算式を入れてあります。ある程度の計算式は入れてありますが、島根県独自の病院の流れもあります。一応その独自の流れを各圏域で取り込んだ病床数となっている状況で現在パブリックコメントを求めておられます。国の制度で作りたいというのが最初に出ており、それをもとに県が構想を練られています。浜田市も26年に構想の素案から立ち会っていますが、今回この素案で、というのが出たのが最近です。

西村委員

だから要するに26年あたりから議論の蓄積があるんだと言いたいんでしょうし、それは分かりました。結局、今回示された案について県から正式に説明はあったんですか。

地域医療対策課長

ありました。今もこれで良いかと来ています。

西村委員

特にベッド数について圏域として意見が出たのか、出なかったのか。一応案の説明を受けてそれで終わったのか、議論の経過を踏まえてどのように圏域で判断しているのか伺います。

地域医療対策課長

詳細な浜田圏域の構想を見ていただくと、各医療機関の病床数も載っています。実際にはそれを減らさないとは書いてないですが、どうするかは今後の協議によります。医療機関としては慢性期が多い理由は会議のたびに言われており、そこを見込んでいます。ただ浜田圏域はあまりに慢性期が多すぎるので、その部分が減らされる構想になっています。医療機関としてはそこについて、これでは困

西村委員

ると強く言われた所はありませんでした。

その場で強い意見が出なかったのだから良いでしょうというわけに、私はいかないと思います。恐らく現実と、示されたこの数字にはすごいギャップがあるし、恐らく医療機関それぞれの思いがあって、そうじゃないと言いたいことは一杯あるんだろうけど、圏域の会議の中にどれだけ反映されて活かされているのかという疑問を少なからず持っています。これ以上の答弁は求めませんが。いかに今までの蓄積があるにせよ、このスケジュールの纏め方はあまりに拙速すぎやしないかと私は思います。

道下委員長

時間もおしていますが、もうしばらくお付き合い願います。

(2) 国保都道府県単位化に向けた島根県の現状について

道下委員長

この件について、医療保険課長。

医療保険課長

(以下、資料をもとに説明)

道下委員長

説明が終わりました。委員から質問はございますか。

澁谷委員

今のお話だと各市町村ごとに保険料が違うのであれば、今回の統一というのは財政的なことと市町村が固定費を抑えるために統一するという理解でよろしいですか。

医療保険課長

主な目的は、それぞれの保険者が、医療費の変動があった時に対応しきれないので、都道府県単位くらいの大きな保険者組織として医療費の伸びを全体で調整する機能を持たせるためというのが一番大きな目的です。当然事務の標準化等諸々のこともあります。保険料の理想は県内統一ですが、現状ではあまりに格差が大きいので、今後目指していこうという議論がなされています。

道下委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

8 その他

道下委員長

その他、執行部から何かありますか。環境課長。

環境課長

机の上に、浜田エコライフ推進隊会員募集チラシをただいま配布しています。

(以下、資料をもとに説明)

道下委員長

私も入っています。委員の皆さん是非、推進隊に協力のほどよろしく願います。他にございますか。

(「ありません」という声あり)

委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では執行部の皆さんはご退席いただいて結構です。委員は引き続き採決を行いますのでお願いします。

《 執行部退席 》

請願第 17 号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願

請願第 22 号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願

請願第 26 号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願

請願第 30 号 保育士問題保育料の軽減、出産促進に関する請願

採決の前に委員から、何か意見等ございましたらお願いします。

保育の関係ですよ。今の財政のところはまだ正直すっきり呑み込めてない部分がありますけど、どうももしこういったやり方を採用すれば、その分少しか大分か、財政的な医療負担が増えるように受け止めました。一方家庭保育の選択肢が広がるという意味では有効な手段かとも思います。従って、この請願には浜田市独自でも勧めるようにという中身になっていますが、私としては結果的にこういったやり方を採用しないということも含めて、研究検討するという方向や意味で、私は一つの価値ある請願ではないかと受け止めて、賛成を表明しておきたいと思います。

その他ご意見ございますか。

この請願について一石四鳥の制度だと謳われているが、私自身も子育て世代の意見等や子育てのご苦労とかお話をうかがった中で、私が思うには一石四鳥になるような制度ではないのではと率直に感じています。今の雇用条件を考えると、例えば1歳児をみるために、仕事をやめて復帰するのが簡単な職場はそんなに多くないということ。待機児童関係についても今までの説明でいくと、年度当初はそれほど深刻な状況ではないこと。途中からはいくらかはあるといわれているが、育児休暇がとれるような職場がそんなにないこと。子育てされた方の中でも、育児ノイローゼも含めて出来るだけ子どもを預けて働きたいというニーズがあることなど。制度を導入したとしても、必ず一石四鳥にはならないという思いがあり、反対の意思

道下委員長
西村委員

道下委員長
小川委員

表示をしたいと思います。

西村委員

別に今紹介議員が発言を求めています、私はそれを、発言してはいけないとなること自体おかしいと思います。

道下委員長

分かりました。森谷委員。

森谷委員

簡単に言うと、小川さんの話を聞くと、公務員だとか収入の高い、2人目も3人目も無理して作れる前提だと思うんですが、1人目も作れない弱者救済のために言っています。だから所得制限と一緒に言っているわけで、副産物で待機児童もということで一石四鳥とか表現は使っているが、四鳥じゃないではないかという理由で反対されるのは心外です。もっともっと理解してほしいですね。バイトで6万くらいしか収入がない人それでも子どもが産めるようにということだから、コンビニのバイトを休んでということだから、職場が大変だからということにつながるわけですよ。僕もっと議論してほしいですよ、勘違いで決定するのはおかしいです。

道下委員長

はい。採決の方向で進めてよろしいですか。

(「はい」という声あり)

道下委員長

賛成の方の挙手をお願いします。

(挙手少数)

挙手少数です。よって本請願は不採択すべきものと決しました。反対理由を述べていただきます。

先ほどの反対意見を調整し、私の方で作成したいと思います。委員長にご一任いただくことにご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

では委員長に一任していただきたいと思います。

請願第 32 号 廃棄物の処理に関する請願

西村委員

私は質疑を通して、環境課が保健所と一緒に現地立ち合い等しながら、桑本さんと実際に会ってお話しながら、若干の進展や変化も見られるようですし、テレビや冷蔵庫等も処分していただくよう交渉を重ねることも対応として考えているようなこともありましたので、私としては浜田市の今後の対応にお任せすれば良いという立場であり、この請願には反対の立場を表明しておきたいと思います。

平石委員

私も西村委員の考えに賛同させていただきたいと思います。市が進めているものですので、ここでやるやらないを決める必要はない

と思います。この請願自体不要だと思います。

森谷委員

請願の内容と執行部の方針が同じなら採択すべきでしょう。採択することでマイナスにはならないのですから。今の意見は間違いです、撤回してください。

道下委員長

他にありませんか。継続ではなく本日採決してよろしいですか。

(「はい」という声あり)

では採決させていただきます。この請願を採択すべきものとすることに賛成の方の挙手をお願いします。

(挙手少数)

挙手少数です。よって本請願は不採択すべきものと決しました。反対理由を述べていただきます。

先ほどの反対意見を調整し、私の方で作成したいと思います。委員長にご一任いただくことにご異議ありませんか。

(「なし」という声あり)

では委員長に一任していただきたいと思います。

[12時42分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員長 道 下 文 男